

第二期 子ども・子育て支援事業計画

主な取組成果



基本
理念

子どもすくすく おとないきいき みんなで育ちあうまちへ



施策の方向 1

結婚や子育てに夢を持てる
環境を整えます



施策の方向 2

子どもの健やかな育ちを守ります



施策の方向 3

保護者への子育て支援を充実します

施策の方向 4

社会全体で子どもの育ちを支えます

施策の体系

【施策の方向1】
結婚や子育てに
夢を持てる環境を
整えます

1 結婚に向けた支援の
充実

1 結婚への意識の醸成

2 経済的自立に向けた支援

3 次代の親の育成

4 母子の健康の確保と増進(妊娠・出産期)

5 不妊に対する支援

6 出産・子育て後の職場復帰への支援

7 思春期保健対策の充実

3 子どもの健康の確保
と増進

8 母子の健康の確保と増進(子育て期)

9 初期小児救急医療の提供

10 食育の推進

4 幼児期の教育・保育の
充実と児童の健全育成

11 教育・保育の量の確保と質の向上

12 児童の健全育成

13 要保護児童への支援

※ は重点施策

1 結婚に向けた支援の充実

指標①

■結婚意識や婚活スキルを高める講座や婚活イベントの開催



写真はイメージ

婚活イベントや縁活お助け人（仲介ボランティア）によるイベント後の交際サポート等を行い、**5年間で男女28人が成婚**に至ったとともに、結婚に前向きになる意識の醸成を図ることができました。

■新生活のスタートアップに要する費用の支援



写真はイメージ

若者の結婚を後押しするため、一定の要件を満たした新婚世帯に対して、新生活のスタートアップに係る費用を最大100万円補助し、9割以上の方から満足いただきました。

■住宅に困窮する若年夫婦に対し低廉な家賃で住宅を供給



東安居団地

住宅に困窮する若年夫婦や子育て世帯に対し、低廉な家賃で住宅を供給し、若い世代の子育て環境の充実を図りました。





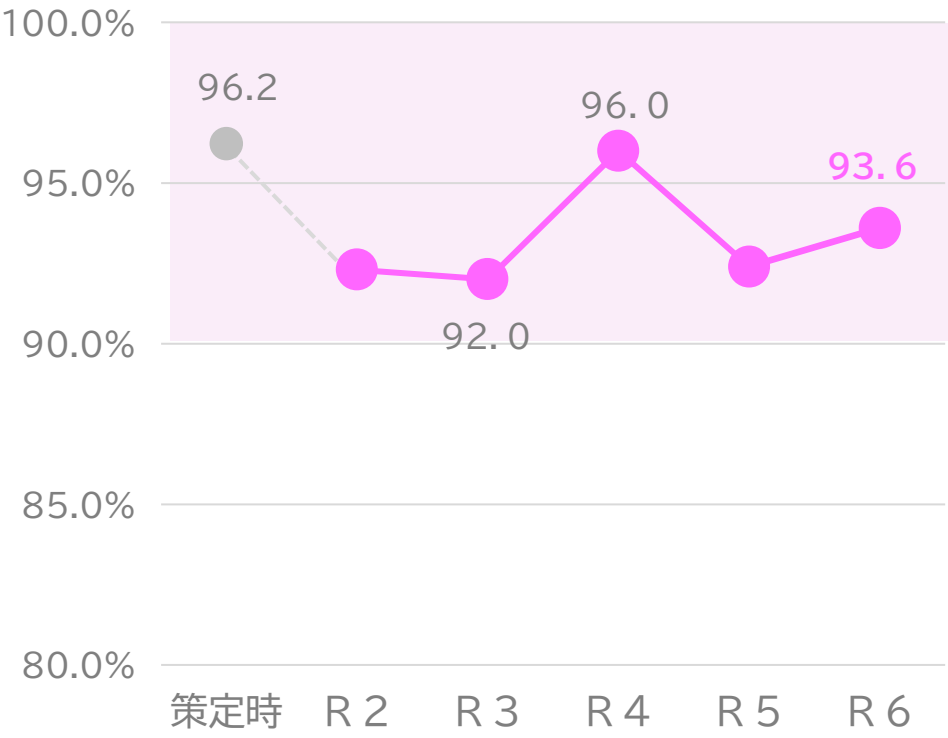
1 結婚に向けた支援の充実

指標 ①	結婚意識が明確になり、さらに結婚への意欲が高まった割合						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (%)	96.2	92.3	92.0	96.0	92.4	93.6	90.0 以上

【評価】

結婚意欲や婚活スキルを高める講座の開催により「婚活に対して自信がついた」「結婚への意欲が高まった」とアンケートで回答した割合がいずれも参加者の9割以上となり、結婚に前向きになる意識の醸成を図ることができました。

また、連絡先交換が成立しない人や成立しても交際に繋がらない人に対して、縁活お助け人（仲人ボランティア）による結婚相談やお見合い相手の紹介を行い、成婚までの一貫した支援を行いました。



福井市主催の婚活講座のアンケート

2 安全な妊娠・出産の支援と負担の軽減

■こども家庭センターにおける相談支援

指標②

重点施策



「ふくっこ」開設セレモニーの様子

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、こども・子育てに関する様々な相談に応じ、情報提供や助言を行いました。保健・福祉・医療等の関係機関が連携し、妊娠期から子育て期にわたる、切れ目のない支援を実施しました。

■特定不妊治療の費用助成と精神的負担の軽減



写真はイメージ

県と連携して、特定不妊治療の保険適用となる治療等について、費用の一部を助成しました。事業の周知の結果、申請件数が年々増加しました。

■妊産婦健診の費用助成や受診勧奨

重点施策



写真はイメージ

妊婦健康診査受診の重要性について情報提供し、適切な回数の受診を促すことで、安心・安全な妊娠・出産につながるよう支援しました。

また、健診費用を助成し、経済的負担を軽減しました。

■出産や子育て後の再就職への支援



写真はイメージ

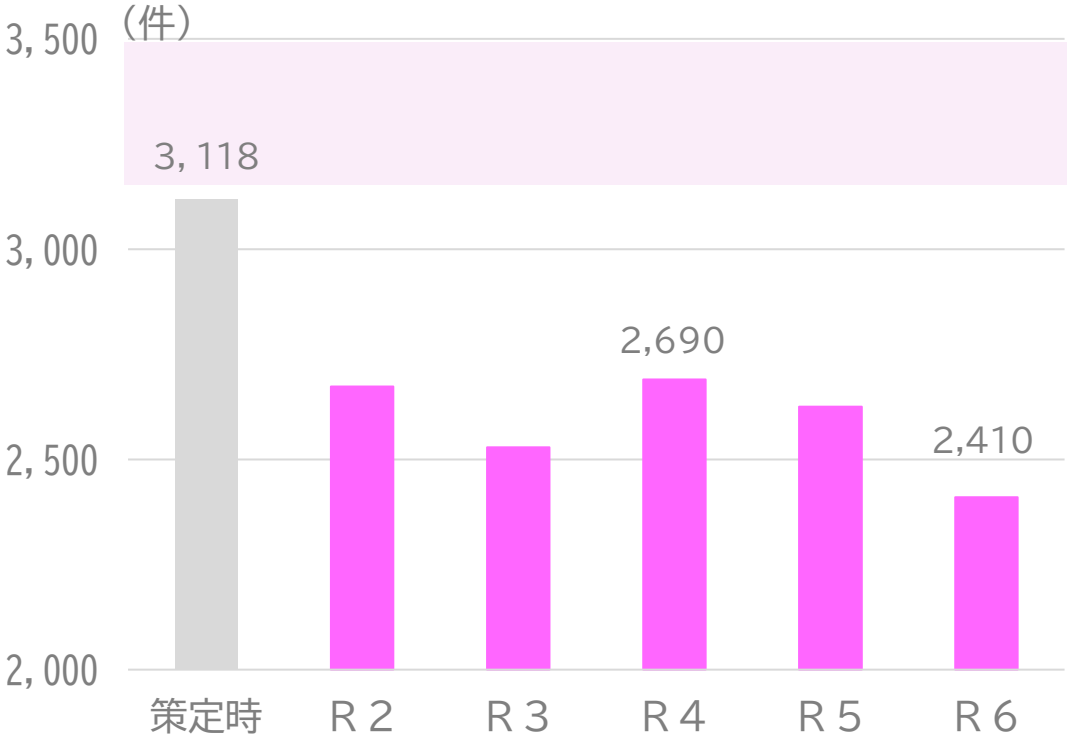
出産や育児等を機に離職した女性が再就職できるよう、必要な知識や情報について学べる機会を提供しました。受講アンケートには9割が満足と回答し、受講者の満足度も高くなりました。

2 安全な妊娠・出産の支援と負担の軽減

指標 ②	妊娠・子育てサポートセンターふくっこ相談件数						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (件)	3,118	2,673	2,529	2,690	2,625	2,410	3,150

【評価】

新型コロナウイルス感染症の流行及び出生数の減少に伴い、母子手帳交付数と来所相談数が共に減少傾向となり、ふくっこ相談件数も目標を下回りました。一方で、にこにこ相談会※など、他の事業における相談数は増加しており、引き続き、支援が必要な母子を早期に把握し、気軽に相談できる場を提供することが必要です。



ふくっこ相談件数 = $\frac{\text{ふくっこ相談件数}}{\text{妊娠届出時面接件数} + \text{来所相談件数}}$

※にこにこ相談会 相談数	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	数値 (件)	683	370	385	290	357	545

施策の体系

子どもをすくすく／おとないきいき みんなで育ちあうまちへ

【施策の方向2】

子どもの健やかな育ちを守ります

3 子どもの健康の確保と増進

4 幼児期の教育・保育の充実と児童の健全育成

5 特別な支援が必要な子どもへの配慮

6 教育環境等の充実

7 安全・安心な生活環境の整備

7 思春期保健対策の充実

8 母子の健康の確保と増進(子育て期)

9 初期小児救急医療の提供

10 食育の推進

11 教育・保育の量の確保と質の向上

12 児童の健全育成

13 要保護児童への支援

14 障がいや発達に遅れのある子どもへの支援

15 ひとり親家庭への支援

16 子どもの貧困対策の推進

17 外国につながる子ども等への支援

18 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境の充実

19 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

20 良好な生活環境の整備

21 子どもの生活の安全を守るための事業の推進

※ は重点施策

3 子どもの健康の確保と増進

■乳幼児健診の実施や受診勧奨

指標③④

重点施策

乳幼児の疾病や異常の早期発見および成長発達の確認や、育児不安の軽減を図るため**健康診査を実施**しました。

それぞれの発育状況や特性において考えられる様々な課題に対し、専門医療機関への紹介や、助産師や保健師などの専門職による教室・相談会、訪問など**早期に対応**することで、より健やかな成長・発達につなげました。

■予防接種の実施や接種勧奨

重点施策



写真はイメージ

乳幼児各種感染症の予防のため、各種予防接種を実施しました。

望ましい時期に正しい知識を持って接種できるように個別通知を郵送し、医療機関での個別接種を実施しました。

■休日・夜間の救急医療体制確保



福井市休日急患センターの様子

休日急患センターおよび休日急患歯科診療所にて、休日の一次救急医療体制を確保しました。

感染症の流行・受診者数の増加に応じて、医師・看護師・薬剤師など必要な人員を増強し、適切な診療体制を提供しました。

■乳幼児期の食育の推進



写真はイメージ

こども家庭センターにおいて、食育推進のための栄養士による離乳食教室を実施しました（開催回数36回(R6)）。

講話や個別相談を実施することで、離乳が順調に進み、乳児の健やかな成長を促すことができるよう支援しています。

3 子どもの健康の確保と増進

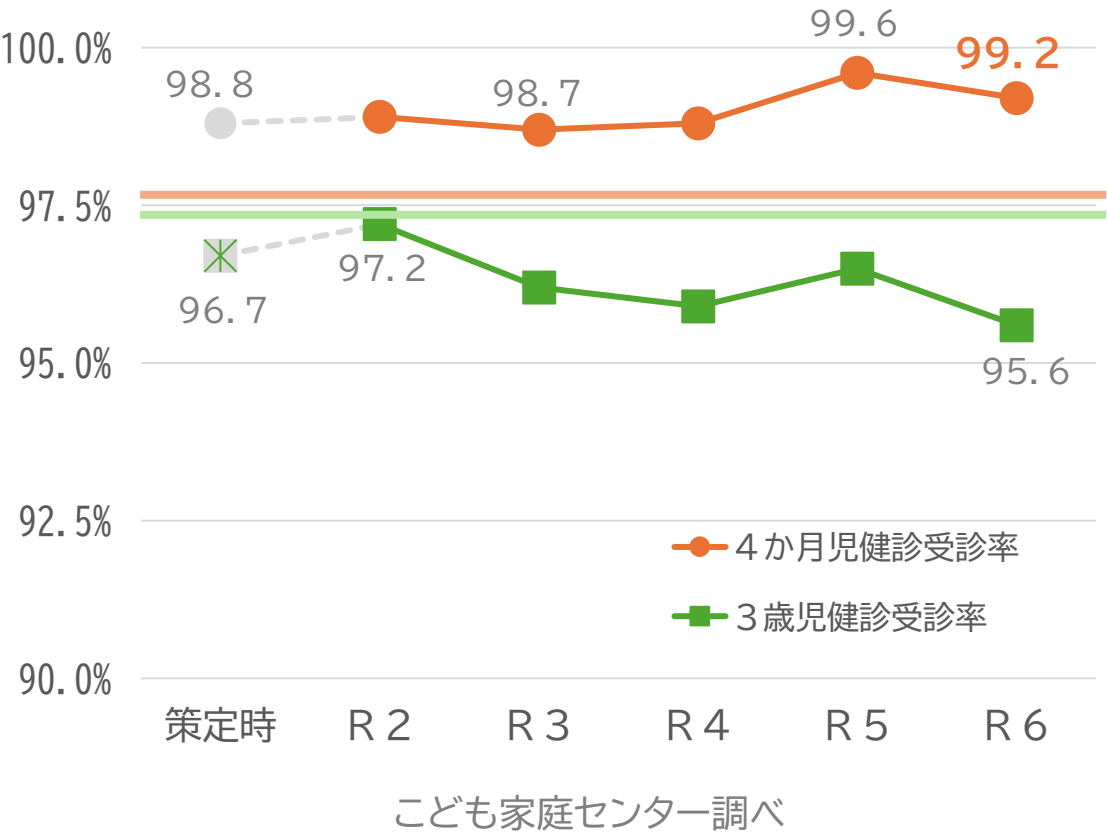


指標③④	乳幼児健診受診率						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
4 か月児健康診査 ③(%)	98.8	98.9	98.7	98.8	99.6	99.2	97.6
3 歳児健康診査 ④(%)	96.7	97.2	96.2	95.9	96.5	95.6	97.4

【評価】

3 歳児健康診査の受診率は目標数値を下回りましたが、4 か月児健康診査は目標値を達成することができました。

未受診者には、虐待の発生リスクが高い家庭や養育支援が必要なケースが含まれていることが多いことから、未受診者の家庭状況を把握するとともに、疾病や異常の早期発見のための重要な健診であることを説明することにより受診に結びつけていきます。



4 幼児期の教育・保育の充実と児童の健全育成

■保育の受入体制の強化

指標⑤

重点施策



新設した私立こども園の様子

低年齢児の定員に不足が見込まれた**九頭竜区域に私立のこども園3園を新設**しました(令和4年4月開園)。

また、定員拡充のための施設整備に対し支援することで、**低年齢児の受入体制の強化**を図りました。

■教育・保育の質の向上に向けた取組

指標⑦

重点施策

アクションプログラムvol.3に基づき、教育・保育内容等についての**専門的な研修や公開保育、研究発表等を実施**し、保育者の資質向上と専門性を高めることができました。

研究指定園等の研究内容や学びを公私立園に伝え、**共有**することで、保育者の資質向上と専門性を高めることができました。

■小学校の余裕教室や児童館などを

指標⑥

重点施策

利用した放課後留守家庭児童の預かり



写真はイメージ

市内84か所で放課後児童クラブを開設し、放課後留守家庭の児童に適切な遊びや生活の場を提供するとともに、**利用のニーズに応じ、児童クラブの新設や定員増を実施**しました。

■児童館の運営

重点施策



児童館の様子

市内29か所で児童館を開設し、児童への遊び場の提供や子育て広場等の子育て支援など、地域に根差した運営を行いました。



4 幼児期の教育・保育の充実と児童の健全育成

指標⑤⑥		待機児童					
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
⑤保育 (人)	0	0	0	0	0	0	0
⑥学童保育 (人)	0	0	0	0	0	0	0

【評価】

保育においては、引き続き「待機児童ゼロ」を維持しました。一方で、九頭竜区域における就学前児童の増加が続いており、今後の動向を注視する必要があります。

学童保育（児童クラブ）においても、「待機児童ゼロ」を維持しましたが、一部の地域で利用希望者が増加しており、今後受入が困難となることも予想されるため、学校の余裕教室等を利用した児童クラブの整備や既存施設の改修等を進めていく必要があります。



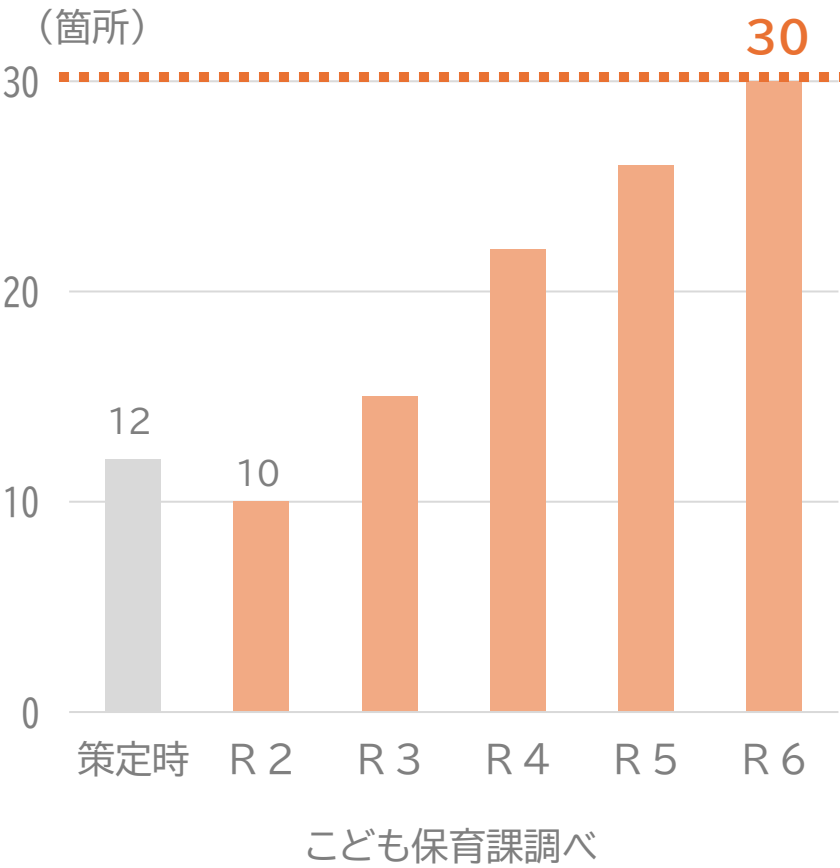


4 幼児期の教育・保育の充実と児童の健全育成

指標 ⑦	公開保育の実施						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (箇所)	12	10	15	22	26	30	30

【評価】

各園に合わせた規模で、いろいろな取組みや工夫を凝らしながら公開保育を実施することができました。開催箇所を増やし、開催園の保育者と参加者双方が保育の資質向上と専門性を高めることができました。



※公開保育 他¹の保育施設で働く保育士や、関係機関の職員などが、日常の保育活動を見学する研修方法

5 特別な支援が必要な子どもへの配慮

■発達障がい児者支援の人材育成 指標⑨ 重点施策

障がい福祉サービス事業所など関係機関の職員を対象に、人材育成研修を実施し、場面に応じた事例検討や相談・助言を行いました。

また、令和6年度から関係機関の対象に放課後デイサービスを追加し、研修方法を対象施設に訪問するかたち（巡回型）で実施したことで、人材育成数の大幅な増加につながりました。

■母子・父子自立支援員による相談対応 指標⑩ 重点施策

母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭に対する総合的な窓口として、生活全般から就労相談、養育費相談、各種制度の案内や申請受理などニーズに応じた支援を行いました。

令和6年度に女性支援室を設置し、母子・父子自立支援員を2名に増員したことで、平日は全日対応できるよう相談体制を強化しました。

■関係機関を対象とした虐待対応に関する講座の開催 重点施策



児童虐待の未然防止・早期発見のため、こどもと関わる機会の多い関係機関を対象に出張講座を実施し、児童虐待の基本的知識や発見のポイント等を周知することで、地域での見守りにつなげることができました。

■学習支援教室の開催



ひとり親家庭や生活困窮世帯等のこどもを対象に、学習支援教室を開催しました。
令和6年度から、森田地区に1か所増やし、全6か所とするなど事業の拡充を図りました。

児童虐待防止出張講座チラシ

写真はイメージ

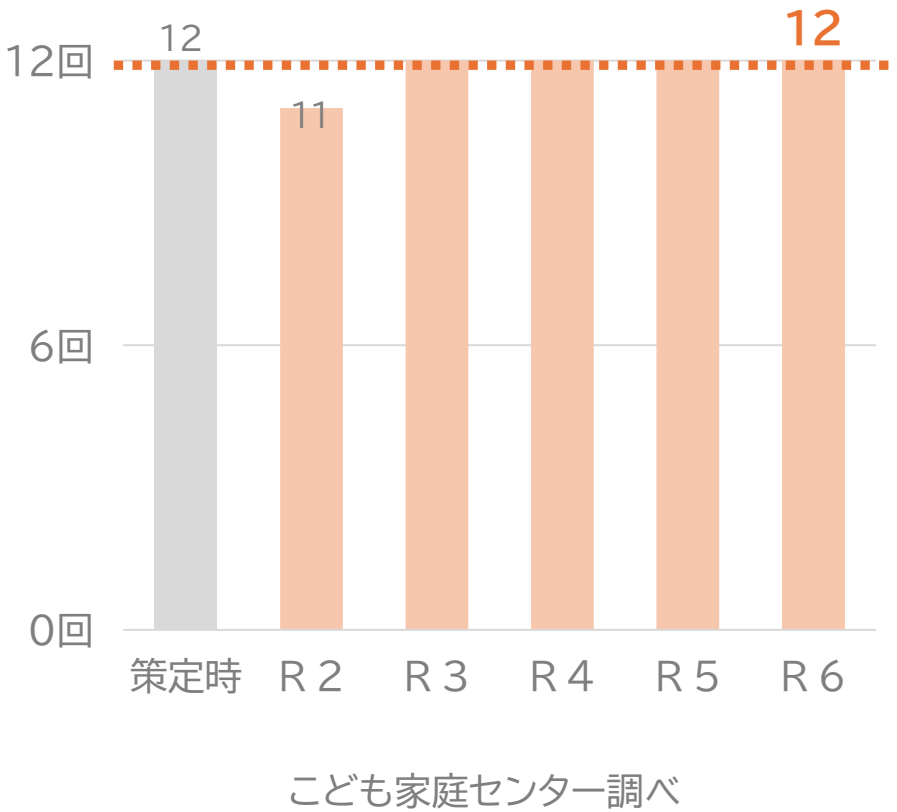


5 特別な支援が必要な子どもへの配慮

指標 ⑧	要保護児童対策地域協議会※実務者運営会議の開催回数						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (回)	12	11	12	12	12	12	12

【評価】

令和2年は、コロナ禍で通常通り開催することができませんでしたが、それ以外の年は関係機関と情報共有し、支援の方向性を共に検討することで、スムーズな支援を実施することができました。



※要保護児童対策地域協議会 警察、保育・認定こども園、小中学校、こども家庭センターなどの関係機関と連携して、要保護児童を取り巻く情報の交換を行うとともに、児童とその家族への支援について協議を行っている。



5 特別な支援が必要な子どもへの配慮

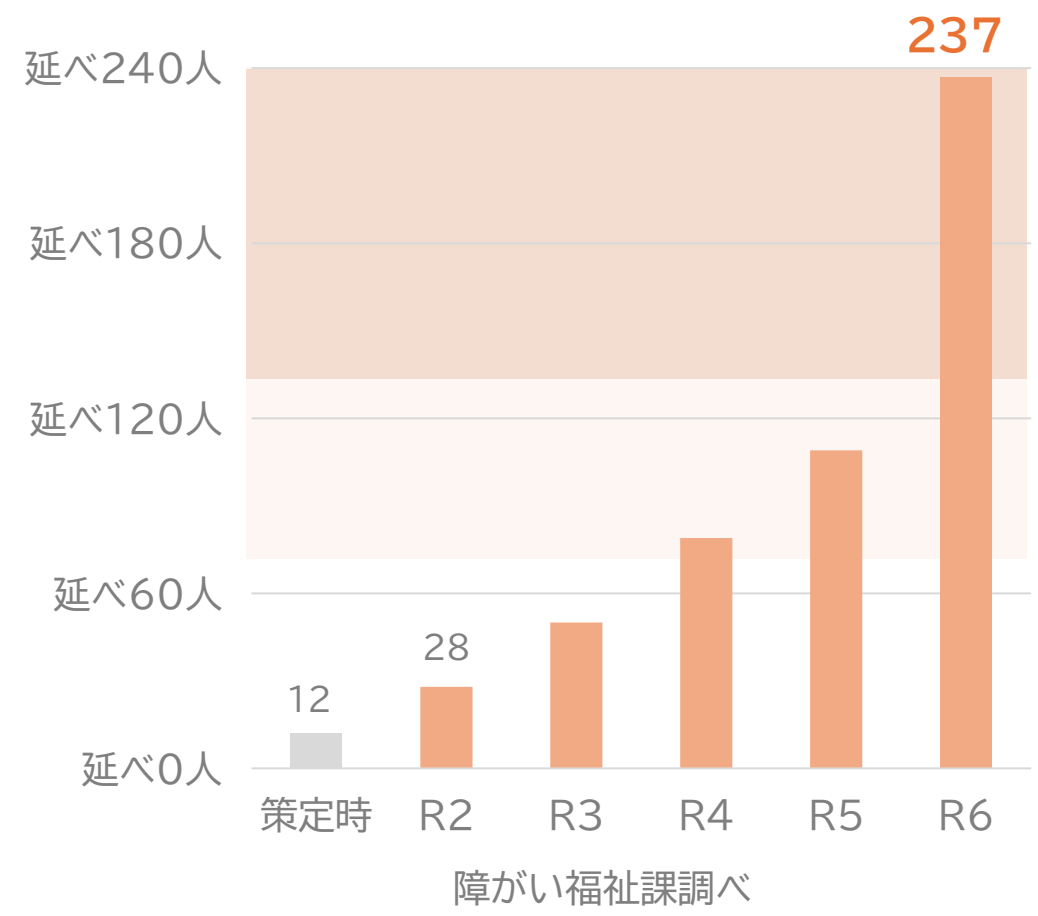
指標 ⑨	支援の向上を目的とした発達障がい児者支援の 人材育成数						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (人)	延べ 12	延べ 28	延べ 50	延べ 79	延べ 109	延べ 237	延べ72 (延べ130※)

※下段の（ ）は計画目標値を達成したため、新たな目標値を定めたもの

【評価】

障がい福祉サービス事業所など関係機関の職員を対象に、人材育成研修を実施し、場面に応じた事例検討、相談・助言を行うことができました。

また、令和6年度から関係機関の対象者に放課後デイサービスを追加し、研修方法を対象施設に訪問するかたち（巡回型）で実施したことにより、人材育成数の大幅な増加につながりました。





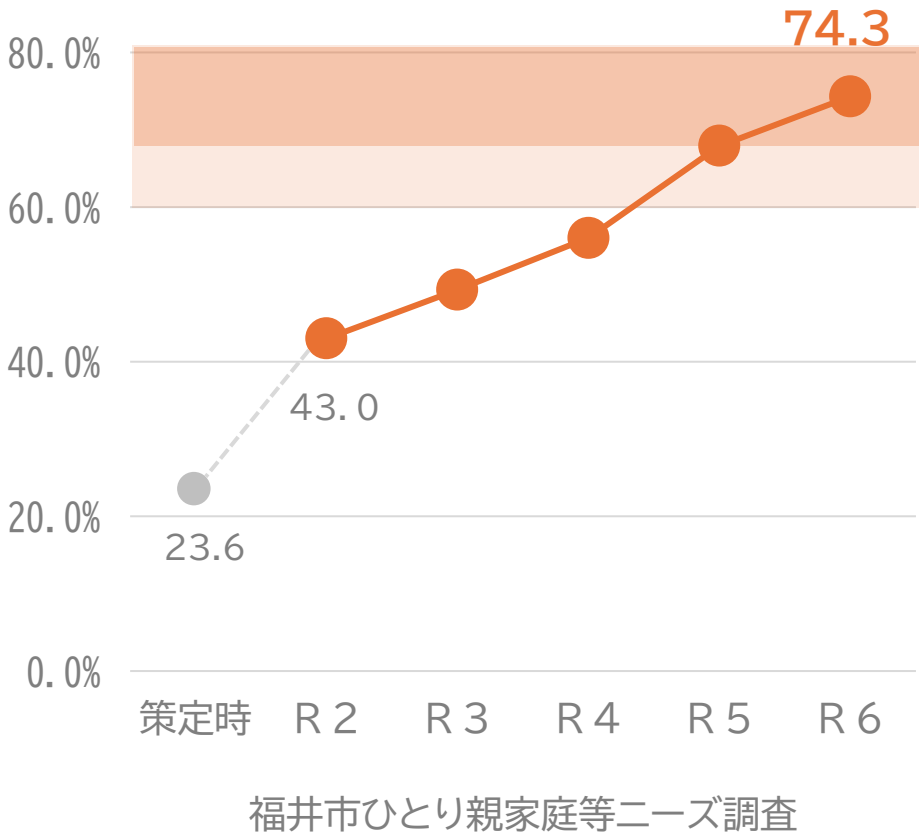
5 特別な支援が必要な子どもへの配慮

指標 ⑩	ひとり親家庭就業・自立支援センターにおける自立支援相談の認知度						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (%)	23.6	43.0	49.3	56.0	67.9	74.3	60以上 (68以上※)

※下段の（ ）は計画目標値を達成したため、新たな目標値を定めたもの

【評価】

令和元年度から、ひとり親家庭就業・自立支援センターを子ども福祉課（現女性支援室）内に設置し、窓口や関係機関との連携により事業の周知を図った結果、当センターの相談業務の認知度は目標数値を大幅に上回ることができました。



6 教育環境等の充実

■キャリア教育の推進

指標⑪



キャリア教育の様子

地域や産業界のもつ教育資源を有効に活用したキャリア教育を行いました。計画的かつ効果的にプログラムを活用する学校が増え、**令和6年度の実施学級数は5年前の255学級から404学級**と大幅に増やすことができました。

■教職員の質の向上に向けた研修の実施

今日的課題や学校教育の諸問題に即応した教育理論と実践について研修を行うとともに、豊かな人間性やコミュニケーション能力など総合的な人間力の向上を図ることで、教職員の力量を高めました。

■地域に生きる学校づくり推進事業

各小中学校において家庭・地域・学校協議会を年3回程度開催し、家庭・地域・学校の連携や、地域人材の発掘やその活用、学校評価※などについて協議することで、充実した教育活動や改善に繋がりました。

※学校評価：こどもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組

■情報モラル教育の推進



スマホとインターネットのイメージ

インターネットに起因するトラブルを回避するため、インターネット上の危険性と適正利用に関する講習会を児童生徒や保護者に行いました(参加者数 11,010人(R6))。また、これから親になる世代に対しても啓発チラシを配布しました。

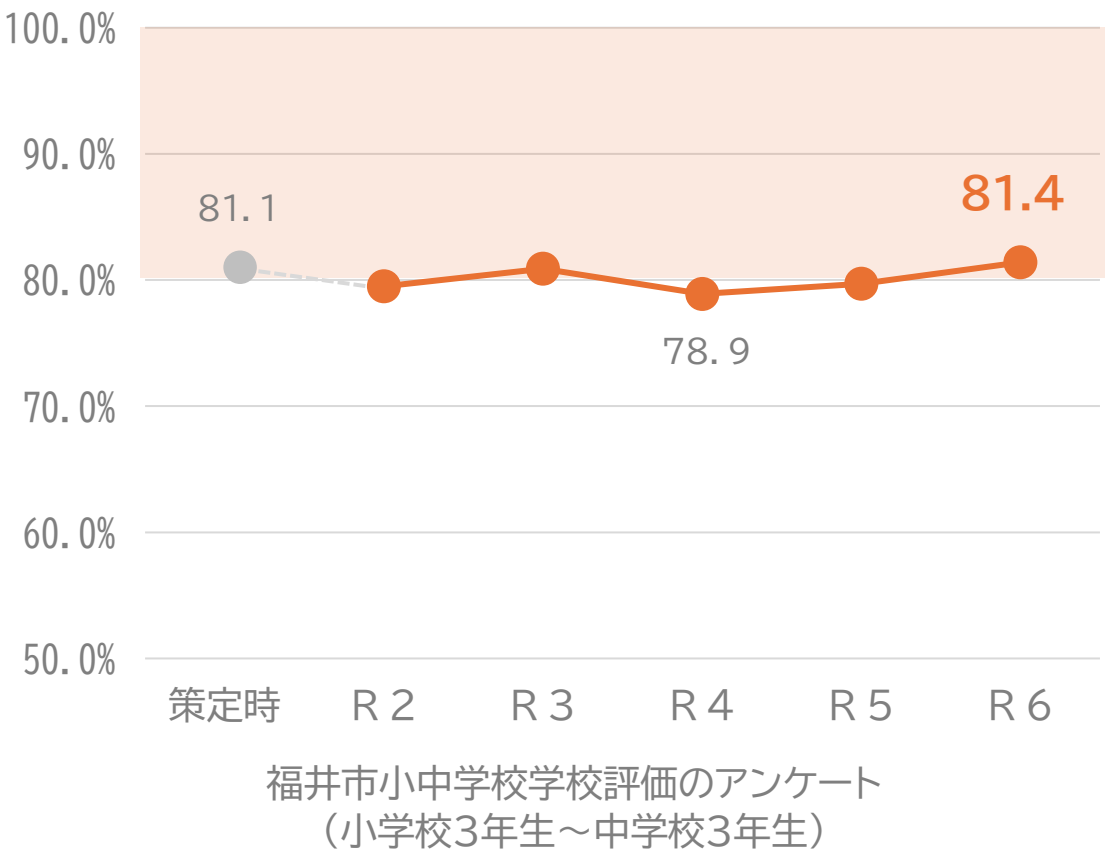


6 教育環境等の充実

指標 ⑪	「将来の夢やめざす目標をもっている」と回答した児童生徒の割合						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (%)	81.1	79.5	80.9	78.9	79.7	81.4	80.0 以上

【評価】

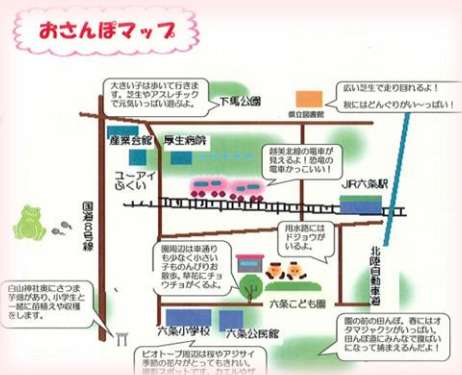
地域や産業界の持つ教育資源を有効に活用したキャリア教育プログラムに力を入れ、より多くの学校に活用を促したことで、目標値を達成することができました(R1 255学級→R6 404学級)。



※キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる教育。本市では、平成24年から福井市キャリア連絡協議会を立ち上げ、経済団体と連携してキャリア教育の推進に取り組んでいる。
※キャリア教育プログラム	学校の教科の学習内容と地域の企業の人づくり・ものづくりの技術を結び付けた教育プログラムで、企業の社員等を地域の教育支援者として学校に招き、教員と一緒に授業を行うもの。

7 安全・安心な生活環境の整備

■保育園等周辺の危険個所の周知や確認 **指標⑫**



こども園のおさんぽマップ

こどもたちの安全を確保するため、**職員自らが園周辺の危険個所を把握・確認**し、お散歩安全マップを作成しました。**職員及び保護者が危険を予測・回避**する行動につなげています。

■ふくいの住まい支援



良質な住環境での居住を促進するため、子育て世帯の住宅取得やリフォームを支援しました(子育て世帯の住宅取得支援50件、子育て世帯のリフォーム支援40件(R2～R6))。

■交通安全教室の開催



写真はイメージ

幼稚園・保育園・認定こども園や児童館・小学校のほか、交通公園(洩上公園)でこどもを対象とした交通安全教室を5年間で計345回実施しました。



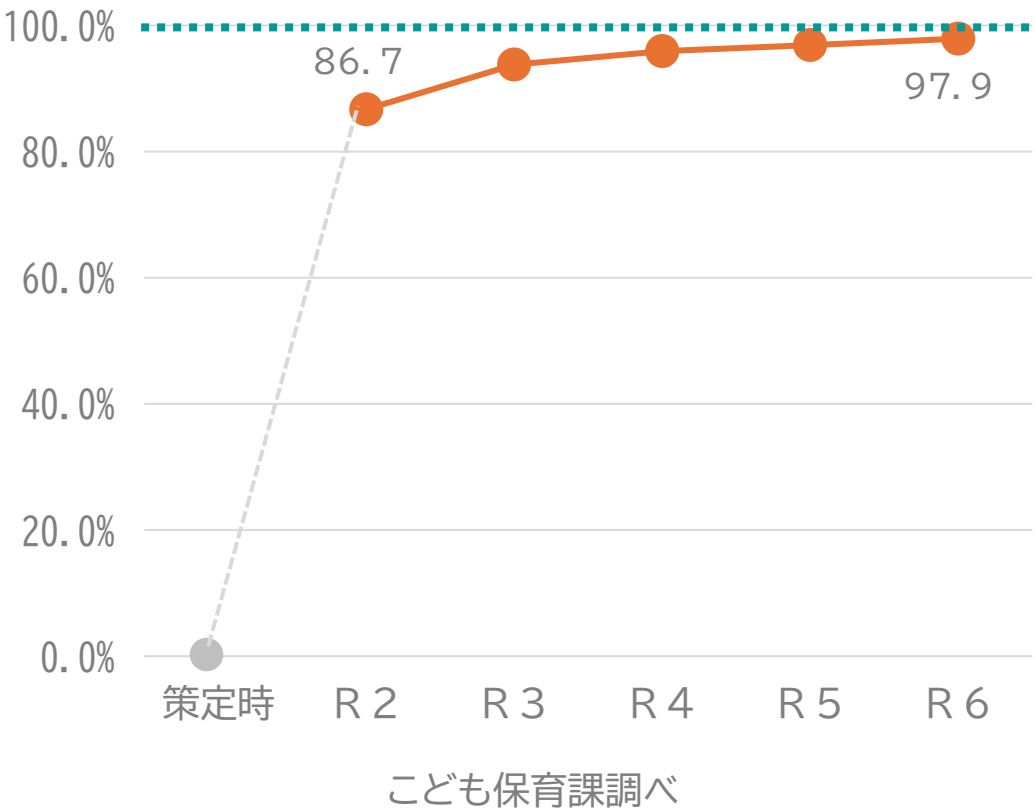
7 安全・安心な生活環境の整備

指標 ⑫	保育園・幼稚園・認定こども園における安全意識の向上に向けた「お散歩安全マップ」の作成・見直し						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (%)	—	86.7	93.8	95.9	96.9	97.9	100

【評価】

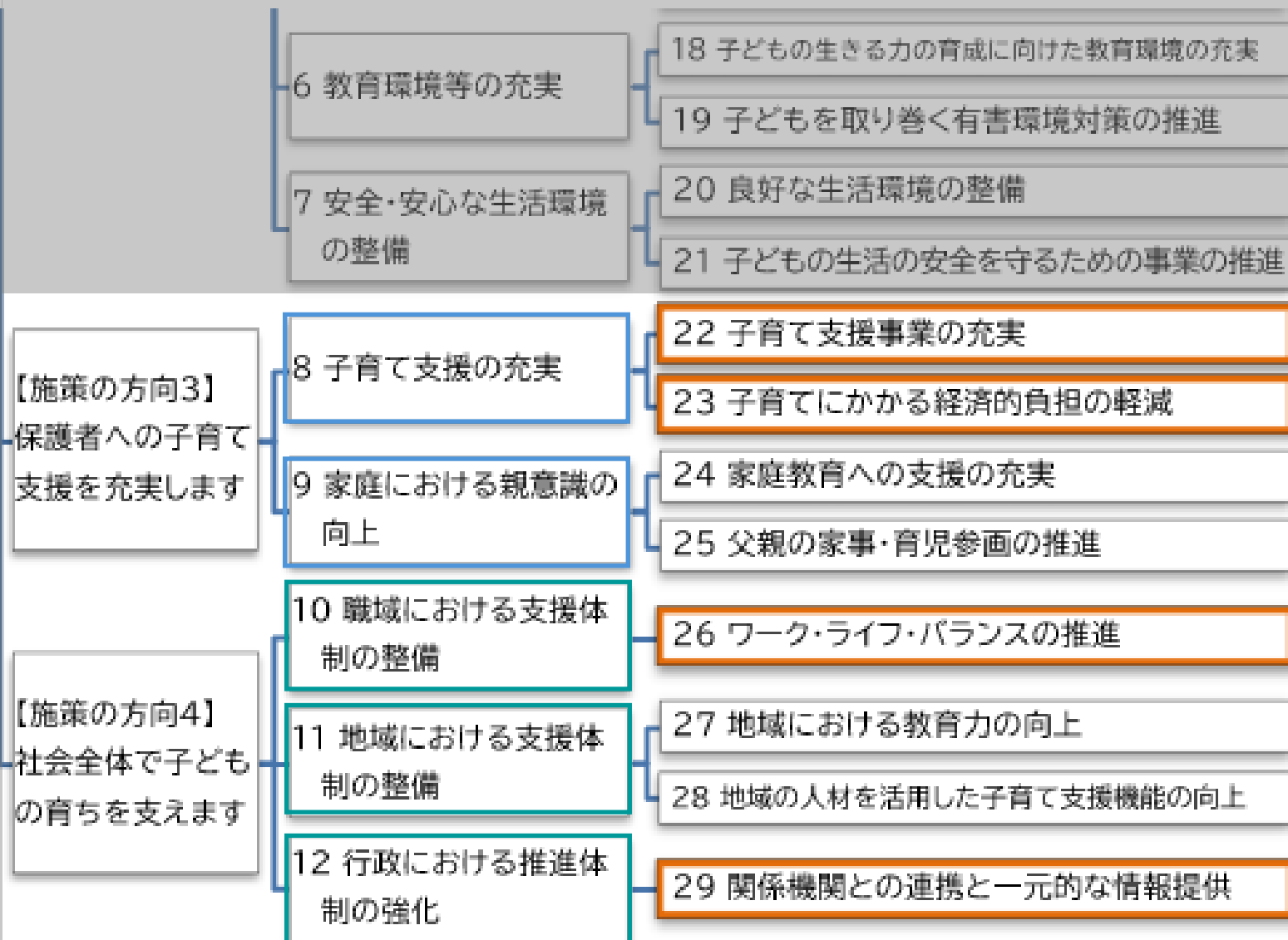
市内全園でマップを作成することはできませんでしたが、各園にこの取組の重要性に対する認識を広めることはできました。

今後も随時更新に取り組み、園周辺の安全意識を向上させるため、各園にマップの活用継続をお願いしていきます。



施策の体系

子育てあつまちへ



※ は重点施策

8 子育て支援の充実

■親子の遊び場の提供や育児相談支援

指標⑬

重点施策



写真はイメージ

地域子育て支援センターを市内11か所で開設し、遊び場の提供のほか、育児相談等を実施し、子育て中の親の孤独感や不安感の緩和につなげました(延べ利用者数100,758人、講習会等実施回数1,739回(R6))。

■子ども医療費の無償化

重点施策



写真はイメージ

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保険診療分の医療費に対する助成を、中学3年生までから高校3年生相当までに拡充しました。

令和7年1月からは、自己負担金の完全無償化を実施しました。

■多子世帯への経済的支援

指標⑭

重点施策



写真はイメージ

令和6年9月から第2子等の保育料を完全無償化としました。

一時預かりや病児保育にかかる利用料金についても無償とし、子育て世帯の経済的負担を軽減することができました。

■生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問

重点施策



写真はイメージ

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を助産師等が訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児相談等を実施するとともに、養育環境等の把握を行い、適切な支援につなげました。



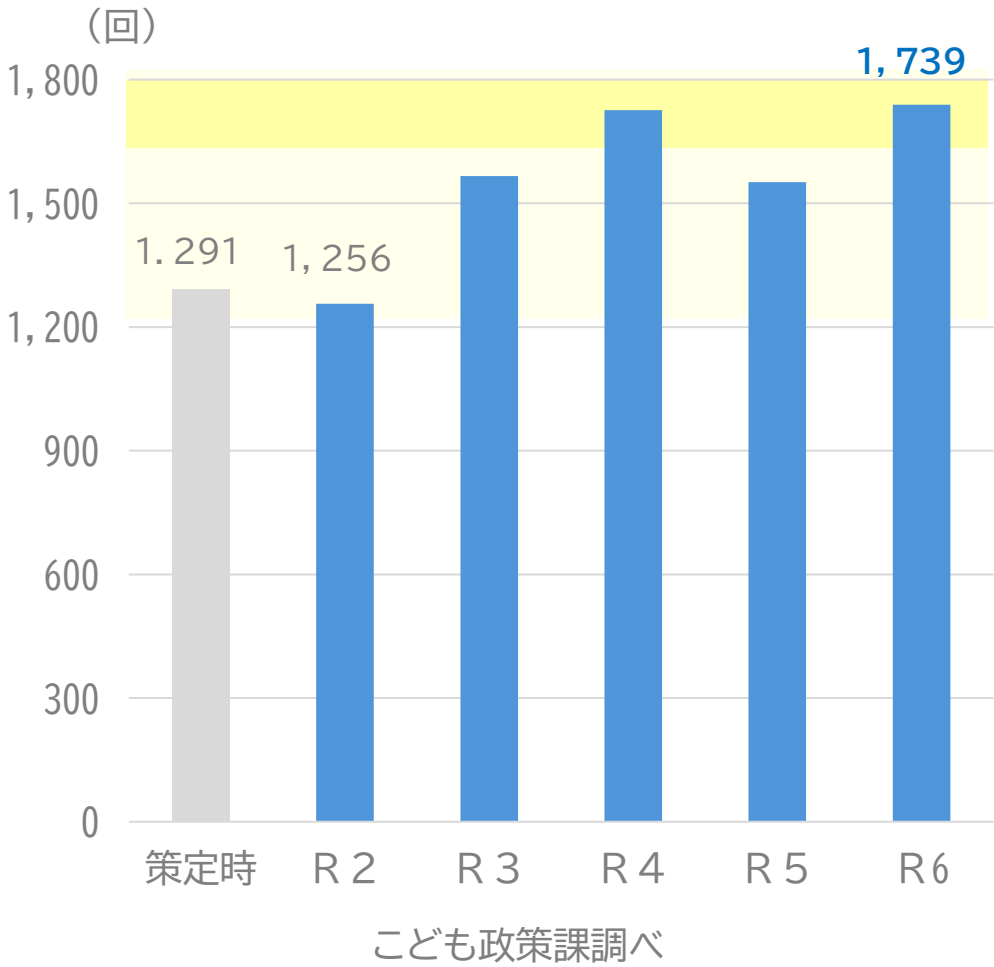
8 子育て支援の充実

指標 ⑬	地域子育て支援センターでの相談会等の 年間開催数						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (回)	1,291	1,256	1,566	1,726	1,551	1,739	1,200 (1,600※)

※下段の（ ）は計画目標値を達成したため、新たな目標値を定めたもの

【評価】

地域子育て支援センターを市内11か所で開設し、親子が一緒に遊べる場を提供したほか、子育て相談や講演会等を開催することで、子育てにおける保護者の不安感等の緩和を図りました。





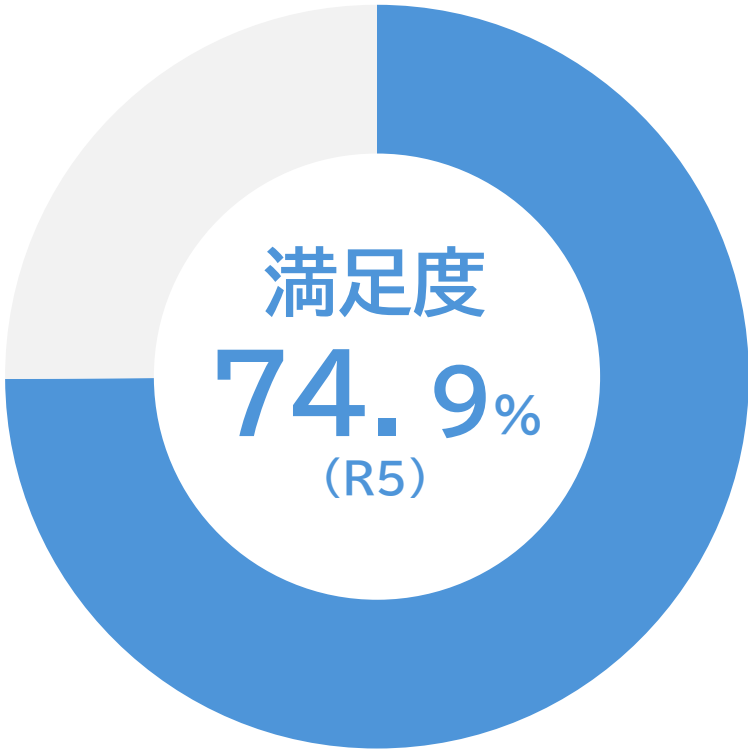
8 子育て支援の充実

指標⑭ 保育施設の利用料に対する満足度							
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (%)	59.2	-	-	-	74.9	-	65.0

【評価】

令和元年10月から、3～5歳児（幼稚園、認定こども園における1号認定の満3歳児も含む）、0～2歳児の非課税世帯における保育園等の保育料を無償化しました。さらに、令和2年9月からは、第2子の保育料について段階的に無償化しました。

その結果、満足度は目標値の65%を超えることができました。



福井市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

9 家庭における親意識の向上

■絵本を介した親子のふれあいを支援

3歳未満のこどもを対象に、地域全体で子育てを応援するメッセージを伝えながら、絵本2冊や子育て支援情報を布製バッグに入れたブックスタートパックを図書館等で贈呈しました。赤ちゃんと絵本をシェアして楽しむことが日常になる一助となりました。

■男性の家事参画や育児休業取得を促す講座の開催

男性の家事・育児への参画を促す「家事・育児シェア見える化シート」活用講座を10回開催(参加者数322人(R6))するとともに、新たに、家事の時間や手間を省く工夫等を男性に体験してもらう「パパ家事応援講座」を年2回開催しました(参加者数47人(R6))。

10 職域における支援体制の整備

指標⑩

重点施策

■市内企業の事業主等を対象としたセミナーの開催



セミナーの様子

働きやすい就労環境づくりのため、**市内企業の事業主を対象としたセミナーを開催**しました(参加企業数27社(R6))。

■中小企業雇用促進相談員による企業訪問や情報提供



写真はイメージ

中小企業雇用促進相談員が企業を訪問し、企業の課題等を聞いたうえで、子育てがしやすい、働きやすい職場環境づくりのための**制度に関する情報提供**を行いました(企業訪問数245社(R6))。

重点施策



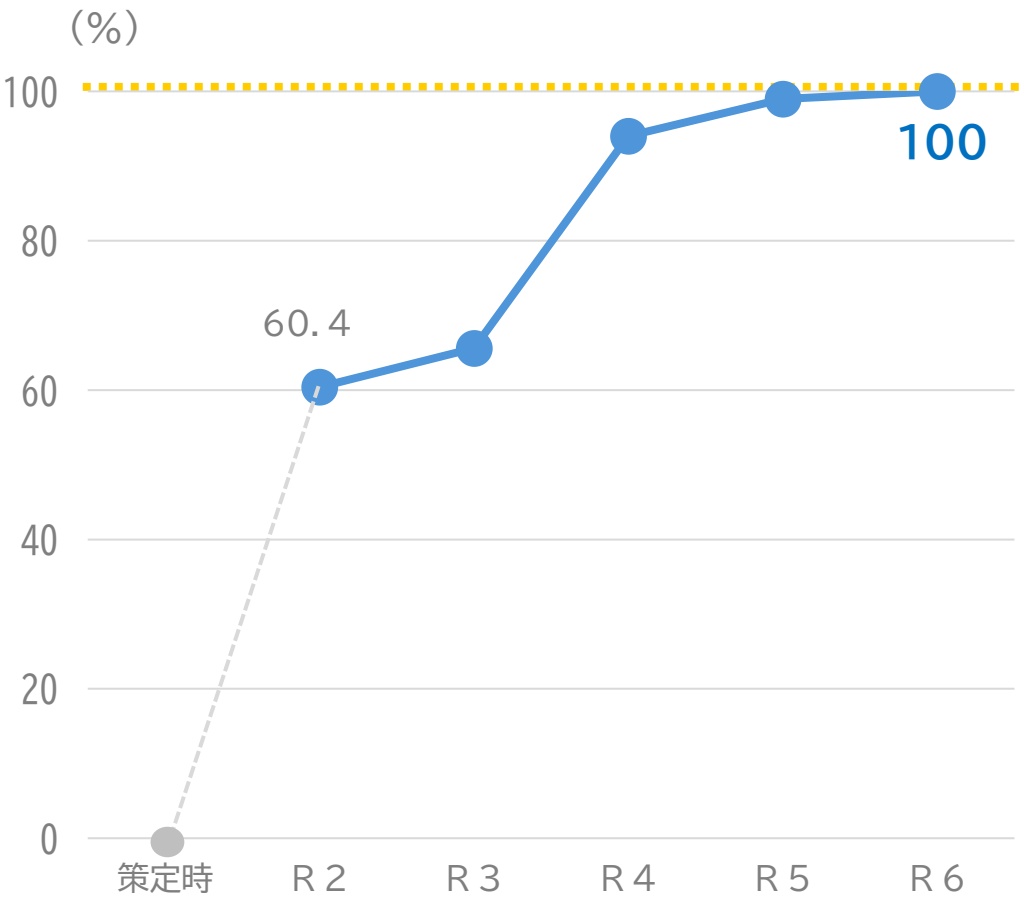
9 家庭における親意識の向上

指標 ⑮	保育園・認定こども園における親意識向上のための取組						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (%)	-	60.4	65.6	94.0	99.0	100	100

【評価】

「おやこたいそう」や「親子で森遊び(ネイチャーゲーム)」などの学習会等を実施し、親子がふれあう機会を充実しました。

また、公立園の取組事例を私立園に紹介してきたことで、私立園にも取組が浸透し、各園が親子参加の行事や未入园児に向けた園開放を実施するなど、積極的な親意識向上のための取組を進めることができました。



保育園・認定こども園における親意識向上のための取組調査

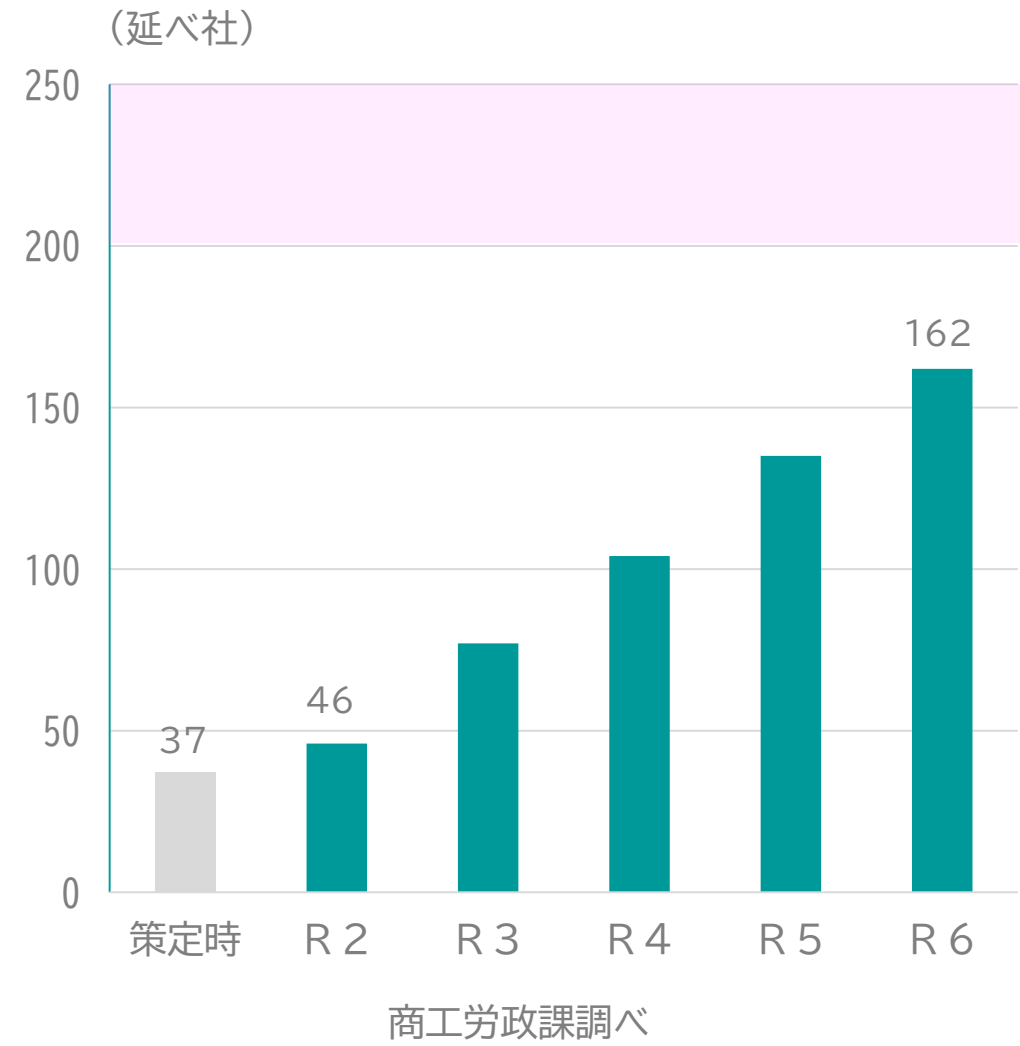
10 職域における支援体制の整備

指標 ⑯	職場環境改善に関するセミナー参加企業数						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (社)	延べ 37	延べ 46	延べ 77	延べ 104	延べ 135	延べ 162	延べ 200

【評価】

市内企業に対し、働きやすい職場環境づくりを啓発するセミナーを開催しました。

目標値には届きませんでした。参加者の満足度は高い結果となり、今後は内容を吟味し、経営者に関心のあるテーマを選択し継続していくことで参加企業数を増やしていくよう努めていきます。





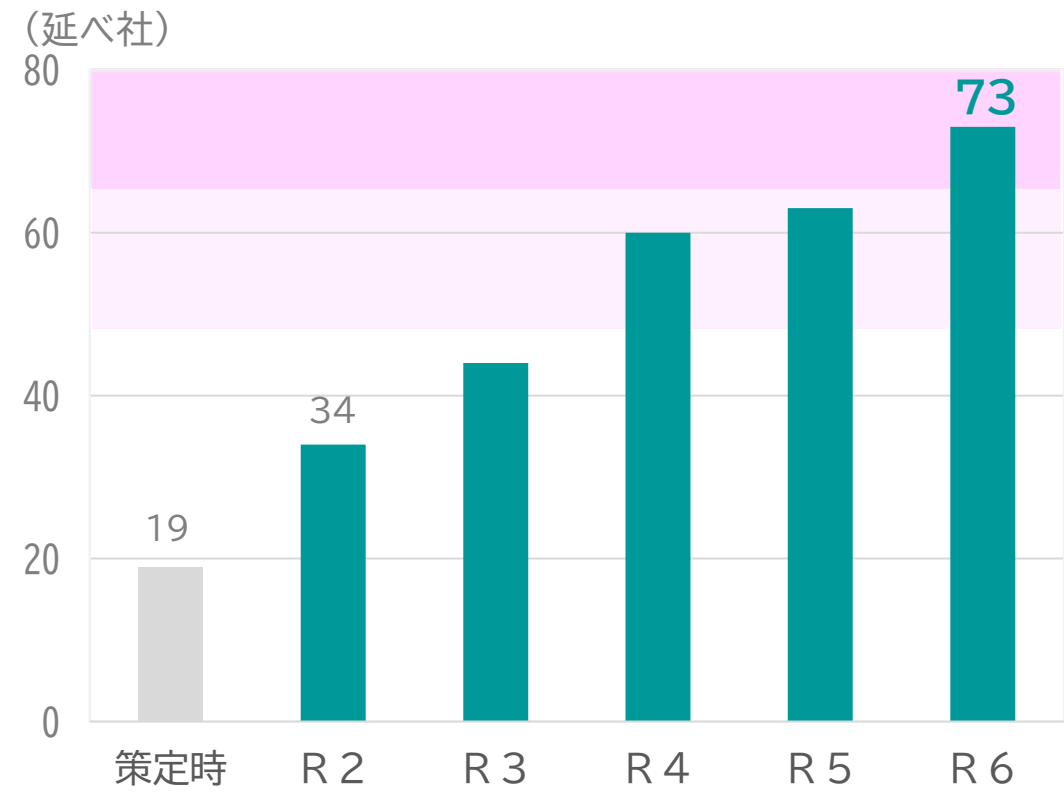
10 職域における支援体制の整備

指標 ⑰	女性が働きやすい職場環境整備に新たに取り組む事業所数						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (社)	延べ 19	延べ 34	延べ 44	延べ 60	延べ 63	延べ 73	延べ50 (延べ65※)

※下段の（ ）は計画目標値を達成したため、新たな目標値を定めたもの

【評価】

子育てファミリー応援企業の登録社数が目標値の「延べ50社」を大きく超え、より多くの企業に対し、男女共同参画や女性活躍に関する意識改革を促すことができました。



女性活躍推進課調べ

11 地域における支援体制の整備

■地域での子育てや孫育ての支援 指標⑱



ぱんだルームでの講座の様子

公民館や図書館、子育て支援センター等で地域の実情やニーズに応じた子育て・孫育て出前講座を開催し(開催数 15回(R6))、地域で子どもの成長を見守る体制づくりの一助とすることができました。

■スポーツ団体と連携した大会の実施



写真はイメージ

地域に根差したスポーツ少年団活動を通じて、子どもの連帯感や社会性を育みました。

また、生涯にわたりスポーツを楽しめるように、各種スポーツ大会や教室などを開催しました。

12 行政における推進体制の強化

指標⑲⑳

■こども家庭センター等における相談支援(再掲) 重点施策



「ふくっこ」開設セレモニーの様子

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、こども・子育てに関する様々な相談に応じ、情報提供や助言を行いました。保健・福祉・医療等の関係機関が連携し、妊娠期から子育て期にわたる、切れ目のない支援を実施しました。

■冊子、SNS、アプリ等での情報発信 指標⑲⑳ 重点施策



福井市結婚・子育てガイド
はぐくむbook

「はぐくむbook」(情報冊子)のほか、母子健康手帳・子育て支援アプリを新たに導入して、子育て等に関する情報を提供しました(はぐくむ.net閲覧数18,129件、ふくいくネ登録者数 2,507名 (R6))。



11 地域における支援体制の整備

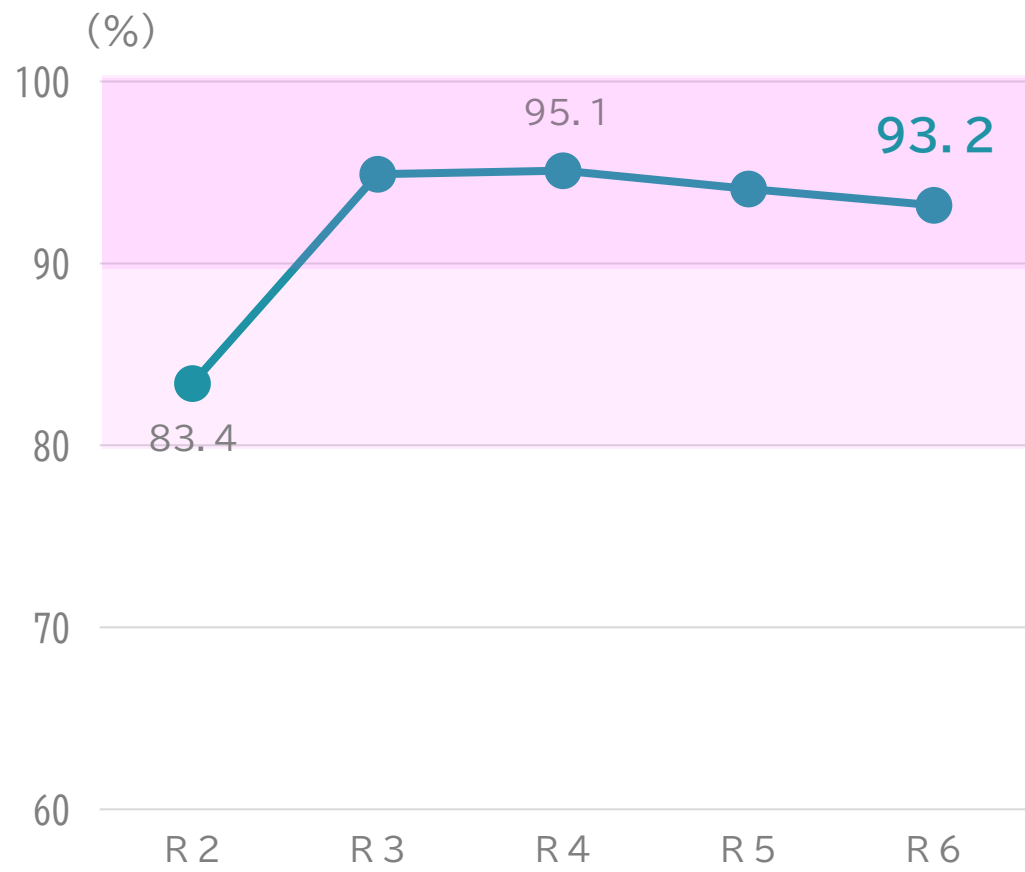
指標 ⑱	子育て・孫育て出前講座の参加者満足度						
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (%)	-	83.4	94.9	95.1	94.1	93.2	80.0 (90.0※)

※下段の（ ）は計画目標値を達成したため、新たな目標値を定めたもの

【評価】

地域子育て支援センターや公民館・図書館など、地域で講座を実施し、親世代だけでなく様々な世代の子育ての参加を促すことで、地域でこどもの成長を見守る体制づくりの一助となりました。

また、講座後の個別相談により参加者のニーズに応じるなど、一人ひとりに対応したことで、参加者から高い満足度を得ることができました。



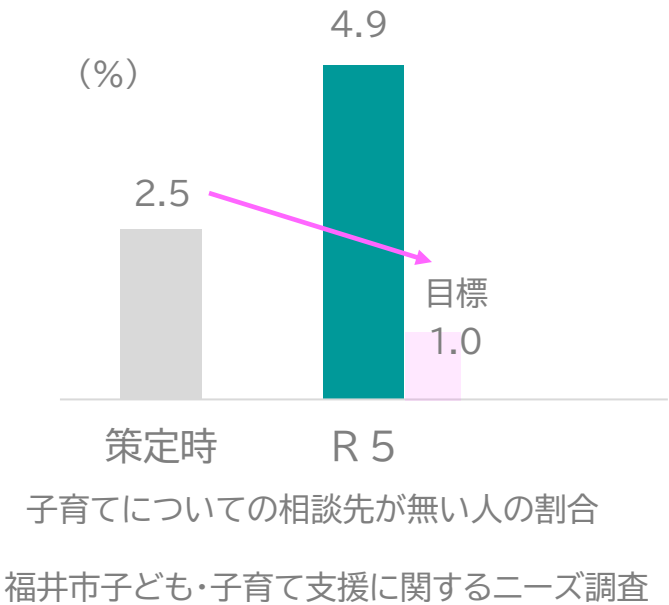
子育て・孫育て出前講座の参加者アンケート



12 行政における推進体制の強化

指標⑱ 子育てについての相談先が無い人の割合							
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (%)	2.5	-	-	-	4.9	-	1.0

指標⑳ 妊娠や出生時における情報冊子配布率							
年度	策定時 (R 1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 目標
数値 (%)	100	100	100	100	100	100	100



こども政策課

【評価】

子育て世代のライフスタイルの変化に合わせて、はぐくむbook(情報冊子)のほか、はぐくむ.net(ホームページ)、ぱんだ通信(Youtube)、母子健康手帳・子育て支援アプリ「ふくいくね！」など、多様な広報媒体を用いて情報を一元的に発信しました。一方で、「子育てについて相談先が無い人の割合」が増えたため、相談体制や情報発信の強化が必要です。

総 括

第二期福井市子ども・子育て支援事業計画では、

「子どもすくすく おとないきいき みんなで育ちあうまちへ」

を基本理念とし、

「母子の健康の確保と増進」 や

「教育・保育の量の確保と質の向上」

「子育てにかかる経済的負担の軽減」 など

11の項目を重点施策と定め取り組んできました。



総 括



● 特に、

- 「こども未来部」の新設及び「こども家庭センター」の開設により、妊娠・出産・子育て支援を総合的かつ一体的に、**切れ目ない支援を行う体制**としました。

（「こども家庭センター」についてはスライド6参照）

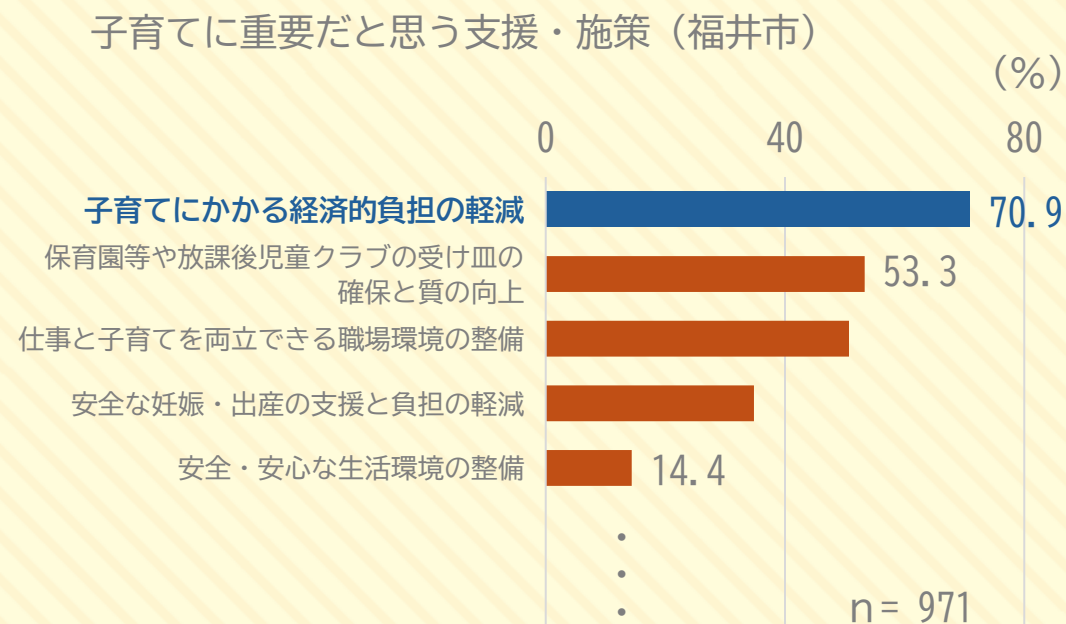
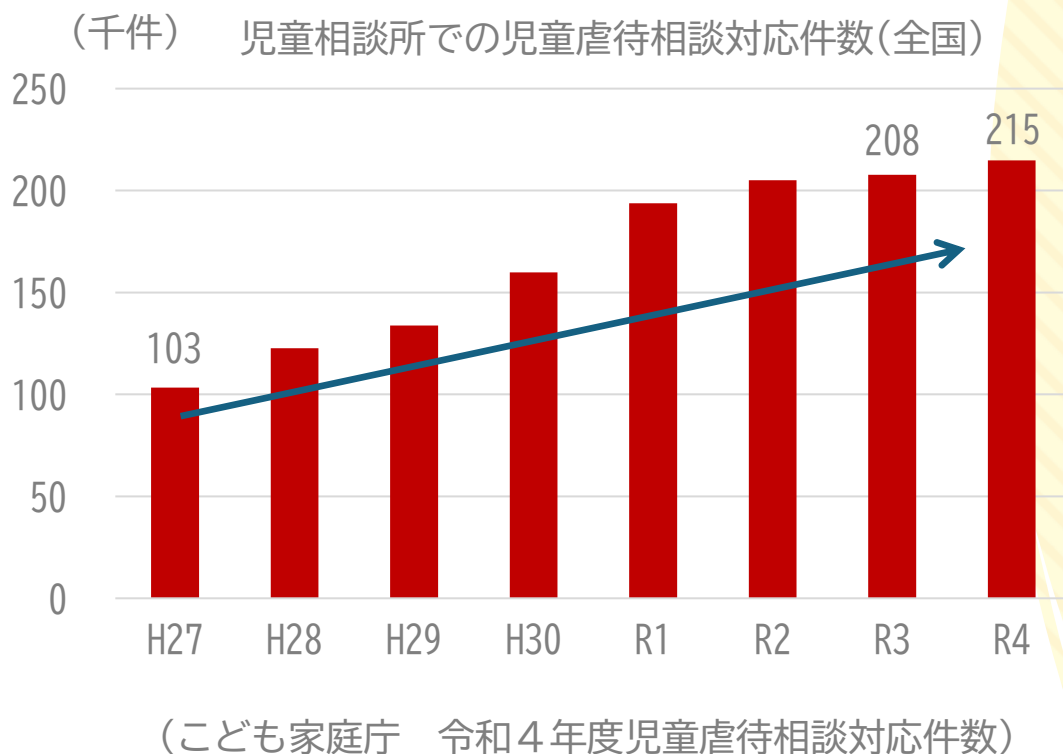
- 保護者の保育ニーズに合わせて、九頭竜区域に私立の認定こども園3園を新設するなど、**保育の受入体制の強化を図り、待機児童ゼロを維持しました**（スライド11参照）。
- 「中学校卒業まで」の子ども医療費助成の対象を「高校3年生相当まで」に拡充し、**子育て世帯の経済的負担の軽減**を図りました（スライド23参照）。

● 成果指標においては、

- ・ 20指標のうち15指標について目標を達成するなど、幅広い分野で取組を進めることができました。
- ・ 達成できなかった指標においても、目標数値の達成には至りませんでしたでしたが、取組としては着実に進めることができました。

総 括

- **国全体**では、「少子化・人口減少」に加えて、近年は「こどもの貧困」や「児童虐待」、「ヤングケアラーの顕在化」といった、**こどもを取り巻く状況が深刻化・複雑化**しています。
- **本市**においても、こどもの居場所づくり、子育てにかかる経済的支援など、**引き続き対応していくべき課題も多くみられます**。



(福井市 令和5年度ニーズ調査)

総 括

- これらの課題にしっかりと対応していくため、「福井市こども未来条例」を制定するとともに、その理念に基づき施策を展開する「福井市こども未来計画」を令和7年4月からスタートしました。
- これまでの保護者支援を中心とした計画から、
今後は施策全般をこども目線で捉えなおし、「こどもの成長を社会全体で応援し、こどもの未来が輝くまち」を目指す施策を展開していきます。
- ✓ 社会全体でこども・子育てに関わり支えていく環境づくりや機運醸成
- ✓ 切れ目ない包括的支援
- ✓ 子育てにかかる経済的支援 等

